

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年3月13日

事業所名 子どもプラス盛岡南教室 保護者等数(児童数) 5人 回収数 5人 割合 100%

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

Table with 7 columns: チェック項目, はい, どちらともいえない, いいえ, わからない, ご意見, ご意見を踏まえた対応. Rows include environment/structure, appropriate support provision, and other evaluation items.

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
保護者への説明等	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	2	1		2	・わからない	今年度、ペアレントプログラムとしては行っておりませんが、子どもの行動に関する保護者の皆様の不安に対し、行動の理解や対応方法などの助言を行うよう相談の体制を整えている。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5				・できている	毎日、連絡帳や口頭にて行っている。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	1	1		・今まで送迎を頼んでいたの で、行く機会がないし仕方 ないが、定期的な面談はな いのかな？と思っていた。	毎回の療育終了時のフィードバックや支援計画のモニタリング、ご要望に応じた面談の際にお子さんの状況をお伝えできる体制を整えている。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		3	1	・時間帯なのか他の保護者とはあまり会わない ・支援されていないと思う	今まで保護者会等の交流は設けたことはない。今後保護者同士の交流を設けていきたい。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4				1	・対応してくれる	親御さんからのご意見や相談に対しては、迅速かつ適切に対応している。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5					・されている	ことばと共にサインを使用したり、見てわかりやすい視覚補助で伝達方法を工夫したり、伝わる方法を工夫している。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5					・されている	「お便り」やメール配信システム「HUG」や、ホームページでの情報発信をしている。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	5					・されている	個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管している。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2			3	・訓練しているかわからない	・火災・救急マニュアル、ハザードマップ・災害時避難手順については、事務所内に掲示している。 ・職員・お子様参加の避難訓練を行っている。	
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			3	・わからない		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	5				・通所をかなり楽しみにしているようです ・すごい楽しんでいる	・子どもの最善の利益を尊重し、子どもたちが安心して楽しく通える事業所をスタッフ一同で目指している。	
	23 事業所の支援に満足しているか	5				・子供が楽しみにしているようなので満足しています ・楽しみながら成長しているのでとても満足している		

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。